

上野みえこ議員の一般質問より

「子どもの貧困問題」解決を！

今や子どもの貧困率は16.3%、6人に1人が貧困状態に追い込まれています。3月7日の一般質問で、上野みえこ議員は、子どもの貧困問題を取り上げ、「子ども食堂への支援」、「学習支援の拡充」について質問を行いました。



栄養の確保、子と親の居場所となる「子ども食堂」運営費や食材費への支援と立ち上げへの援助を！

今、市内各地で「子ども食堂」の取り組みが行われています。食事が十分とれない子どもたちへの栄養支援、さらには子どもと親の居場所づくりとして大切な役割を担っています。

質問では、「実態把握に努め、取り組みを進めている市民の方々の意見をしっかり聞くとともに、運営費や食

材費などへの支援を実施するとともに、立ち上げへの援助を行うよう」求めました。



財政的な支援について市からは、「エンゼル基金の助成要件にあえば、その対象として取り扱う」、「実態把握や活動団体の要望などについて、つかんでいきたい。立ち上げの相談などにも対応していきたい」との答弁がなされました。

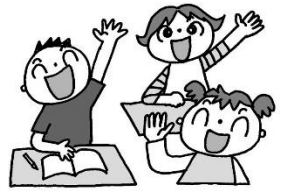
エンゼル基金では、「地域における子育て支援活動」「児童の健全育成を目的とする活動」などに取り組んでいる設立後3年までの団体等に、初年度、次年度に5万円の助成を行っています。

貧困に直面している子どもへ学習支援の拡充を！

上野議員は、現在、生活保護世帯の中学3年生、中学2年生を対象に実施している学習支援事業の対象を、小学生・高校生へと広げるなど、拡充を求めました。

また、民間による学習支援

センター（カウンセラーの対応、教員資格者による学習支援、在籍校との連携による単位取得）の取り組みを紹介し、行政としても支援を強化するよう求めました。



学校を貧困対策のプラットフォーム(相談・解決の調整役)に！

また質問では、学校が貧困対策のプラットフォーム（子どもの貧困に対する課題や相談を受け止め、福祉部門との連携・調整を図る）役割を果たすことの重要性を指摘し、連携を求めました。市からは「学校・教育委員会と福祉部門との連携強化を図っていく」との答弁がありました。

（控え室から）
「保育園落ちたの私だ！」
やまべひろし
子どもの保育園が見つからず、復職できない問題を怒りとともにつぶったブログが反響を呼んでいます。
ブログの書き込みをめぐり国会で安倍首相は「匿名なので確かめようがない」と突き放し、自民党議員からは「書いたのは誰だ」とヤジが飛びました。政権のこうした態度に憤った親たちが急ぎよ国会前で行動に立ち上がった。ネット署名がわずか数日で約2万8千人分も集まりました。その怒りの声は急速に広がりました。慌てた政府が追加対策の検討を打ち出す事態に発展しています。この問題が短期間にこれだけ共感をもって広がったのは、「待機児童ゼロ」を掲げながら現実を直視せず、真剣に解決しようとしないう政権に対する父母らの強い不信、いらだちの表れにほかなりません。
昨年4月、全国の待機児童数は2万3167人のぼり5年ぶりに増加に転じました。熊本市においても、2月1日の時点で、待機児童は245名、また希望した園に入る事ができていない保育児が1355名となっています。
国に対して、保育環境の抜本的な改善をしっかりと求めていくとともに、市としても、待機児童解消へさらなる取り組みを進めるべきです。



日本共産党 市議会だより

NO. 989
2016年3月20日号

発行：日本共産党熊本市議団

電話 328-2656

上野みえこ なすまどか 山部ひろし

FAX 359-5047

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：http://www.jcp-kumamoto.com/

桜町再開発 MICE施設（仮称 熊本城ホール）整備 308億円の妥当性示されず多額の予算が計上

来年度の当初予算には、桜町再開発で整備が進められているMICE（仮称熊本城ホール）施設に関する予算が提案されています。

一般質問で上野みえこ議員がMICE整備の問題点について取り上げました。



市が買う床 93万円/㎡ 民間が買う床 50万円/㎡ なぜ高い？ 根拠を示さず、予算の提案は無責任です！

今議会には、MICE整備のための床取得代103億円（3年間で308億円）が提案されています。

上野議員は、市の取得する床の値段が93万円/㎡と、民間が取得する床の値段が50万円/㎡に比べ高額になっていることを示し、その根拠について説明を求めました。

大西市長からは、「現時点で公表することは予定していない。来年度には専門家による検証を行い、

価格の妥当性を確認する予定。事業の進捗にあわせ示していく」との答弁がありました。

床取得代308億円は、市民の税金です。金額が妥当かどうかは、予算を通した後に検証するという市の姿勢はあまりにも無責任です。

上野議員は、「まともな説明もせず、議会に議決を求めるというやり方は、市民の代表である議会を軽視しているもの」と厳しく指摘しました。

整備費用の8割は借金 27億円～40億円の利子を負担

一般質問では、MICE整備費用の約8割250億円が借金である市債により確保されることが示されました。

また、利子についても20年償還で27億6千万円、30年償還で40億円と多額に上ることも明らかになっています。

桜町再開発に関わる市の負担は、MICE整備323

億円（床308億 備品等15億円）、補助金126億円、さらに利子の返還に数十億と多額の税金が投じられます。また、このほか再開発をすすめる株式会社に無利子の貸付金30億円も今議会に提案されています。

市民の暮らしが大変なかで、こうした莫大な投資が優先されているのか、問われるべきです。

来年度 国民健康保険料値上げで5億円の負担増 負担の限界 保険料値上げは中止を！

熊本市は、来年度の国民健康保険料を一人あたり平均2242円引き上げ、総額で5億円負担増を実施することとしています。

大西市長は「国保会計が厳しい状況にあることから、保険料値上げを実施せざるを得ない」と説明しました。

しかし、国保会計の赤字抑

制を目的とした繰り入れ額を大幅に減らす（ピーク時28億円 現在8億円）など、市側の責任を果たさず、市民の保険料を増やすというのは許されません。

再開発に投じる何百億ものお金があるのならば、まずは保険料値上げを中止し、国保料を払える金額に引き下げるべきです。

